

お得なキャンペーンのご案内

宅地建物取引士

宅建士を学習するなら今がチャンス!!

キャンペーン期間 2023年11月1日(水)～2024年1月31日(水)まで

※キャンペーンは、上記の期間内に大原にて申込手続きをし、ご入金まで完了された方が対象となります。

期間限定
特別受講料

2024年受験対策 宅建士 合格コース・入門パック

～法律知識ゼロの方も安心して学べる「入門講義」付きコース!～

受講形態	通常一般価格	一般キャンペーン価格	会員キャンペーン価格(5%割引)
教室通学、映像通学	174,100円	164,100円	155,890円

※大原グループの講座(通学・通信)に初めて入学される方は受講料の他に入学金6,000円(消費税込)が必要です。

【宅地建物取引士講座 開講校一覧】

札幌校／函館校／盛岡校／仙台校／山形校／東京水道橋校／池袋校／新宿校／町田校／立川校／横浜校／千葉校／津田沼校／柏校／水戸校／大宮校／宇都宮校／高崎校／甲府校／長野校／松本校／新潟校／富山校／金沢校／福井校／名古屋校／津校／岐阜校／浜松校／静岡校／沼津校／大阪校(新大阪)／梅田校／難波校／京都校／神戸校／姫路校／和歌山校／岡山校／広島校／愛媛校／福岡校／北九州校／大分校／熊本校／沖縄校

試験ガイド

- 合格率／令和4年 17.0%
(試験機関発表の全国合格率)
- 受験資格／なし
- 試験科目／権利関係、法令上の制限、宅建業法、税法、その他
- 問い合わせ先／
(一財)不動産適正取引推進機構(試験部)
TEL:03-3435-8181
ホームページ <http://www.retio.or.jp/>

取得の力

50問全問が四肢択一式でマークシート方式であるため受験しやすい!

宅建士試験は、四肢択一式でマークシート方式となっているので、ズバリ受験しやすい『国家試験』である。四肢択一式(四つの選択肢の中から正解肢の一つを選ぶ形式)であるため、四つの選択肢のうち、三つの選択肢に正誤の判別が付けられれば、消去法により正解肢を導き出すことが可能であり、また、マークシート方式であるため、記述が一切ないというのも宅建士試験の魅力のひとつといえる。

不動産業界のみならず多彩な業界で有効!

宅地建物取引士は、「不動産取引の専門家」であり、不動産業を営む事務所では従業員5人につき1人以上の割合で宅地建物取引士を配置することが「宅地建物取引業法」で定められている。また、20万人以上にのぼる受験申込者のうち、不動産業に従事する人以外の割合が約7割というデータが示すように、その活躍の場は不動産業界だけにとどまらない。例えば融資を行う際の担保として不動産を扱う銀行等の金融機関や、顧客の資産設計を行う生保業界、店舗の立地が重要な経営戦略となる小売業や外食産業などでも、宅建は必要とされている。

活躍のフィールド

不動産業

事務所では5人に1人以上の割合で配置が義務付けられている。

金融機関

担保として不動産を扱う場合や、住宅資金融資の際に知識が必要となる。

小売業や外食産業など

店舗の立地が重要な経営戦略の力となるため、不動産に関する知識が武器になる。

その他一般企業

所有不動産の管理・運用や、社宅の賃借管理などを行う総務・財務部門で活躍できる。

マイホーム購入時に備え、不動産知識を身につけるために、一般の方が取得するケースもあります!